

.....

## 日本放送協会 理事会議事録

(2022年 9月13日開催分)

2022年 9月30日(金)公表

.....

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2022年 9月13日(火) 午前10時30分～10時45分

<出席者>

前田会長、正籬副会長、林専務理事、板野専務理事、  
小池専務理事、伊藤専務理事、児玉理事・技師長、中嶋理事、  
熊埜御堂理事、山内理事、安保理事、山名理事  
大草監査委員

<場所>

放送センター役員会議室

<議事>

前田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 経営計画について

2 報告事項

(1) 考査報告

3 審議事項

## (2) 第1407回経営委員会付議事項について

### 議事経過

#### 1 審議事項

##### (1) 経営計画について

##### (経営企画局)

「NHK経営計画（2021－2023年度）」（以下、「現経営計画」）については、計画内容実現の見通しが立ち次第、修正する想定であり、このたび見通しが立ったことから、計画修正について、審議をお願いします。

本日は、「修正経営計画（案）の重点事項・さらなる構造改革に向けて」の項目を中心に説明します。

検討に当たって重要な前提として3点お伝えします。ひとつめは、還元原資として700億円を確保し、2023年度に受信料を値下げすることです。次に、2023年度中に、衛星波を1波削減することです。そして、現経営計画の期間については、計画通りに2023年度で終了させることです。これは、総務省で進んでいるインターネット活用業務のあり方などの本格的な議論を見極めたうえで、次の経営計画を作る必要性が見込まれることなどが理由です。

続いて、「修正経営計画（案）の方向性」を説明します。現経営計画では、日本と世界の社会・経済環境の変化として、「人口・世帯数の減少」、「メディア環境・視聴者行動の変化」、「不確かであいまいな情報の拡散」、「新型コロナウイルス等による社会経済状況の変化」の4つを想定していました。後発事象として、「新型コロナウイルスの長期化」、「ウクライナ情勢」、「異常気象の頻発」などがありますが、いずれの事象も現経営計画で想定した環境変化が加速したものとして受け止めています。従って、スリムで強靱な新しいNHKへの変革を目指し、現経営計画の大方針は堅持すべきであると考えています。

一方で、この2年間の環境変化を踏まえた、課題・要望への対応が必要だと考えています。具体的には、「地域を含め、民放と協力して二元

体制の持続可能性を高め、放送の価値を届けることにより貢献すべきではないか」、「インパクトのあるコンテンツへの更なる経営資源の集中、ネット時代への対応を業界全体で行うことに貢献すべきではないか」、「フェイクニュースがあふれる時代に対応し、安全・安心な暮らしを支える基本情報の取材・制作機能をよりいっそう強化すべきではないか」、「レジリエンスの確保のための資本の増強、とくに地域を意識して、SDGs時代に対応した投資を行うべきではないか」といった命題を想定しています。

続いて、「修正経営計画（案）の重点事項」を説明します。現経営計画では、「徹底した構造改革」として5つの重点項目を掲げています。修正経営計画では、この大きな骨格は変えず、重点項目のうち「安全・安心を支える」と「あまねく伝える」の2つについて、加速する環境変化に対応する形とします。「安全・安心を支える」では、災害のみならず、安全保障、国際情報、地域文化の情報なども含めて、「信頼できる情報」を確実に提供して、安全・安心を支える必要が増していると考えています。具体的には、フェイクニュースへの対応や、信頼され、魅力あるコンテンツへの更なる集中などが求められます。「あまねく伝える」では、放送通信融合時代であっても、世代や場所を超えて、放送の価値をあまねく持続的に届けることに対して、公共放送への期待と役割が増していると考えています。具体的には、放送ネットワークインフラ維持への貢献、SDGs時代に対応した投資などが必要となります。その前提として、「徹底した構造改革」を進め、これまでの改革について進化・深化を進める必要があります。

このことから、修正経営計画では、現経営計画で掲げている「スリムで強靱な新しいNHK」への変革を目指す方針は堅持しつつ、そのうえで「新しい“安全・安心”の追求」と「新しい“あまねく”の追求」の2点に注力することを掲げたいと考えています。それぞれに2つの柱を立てました。「新しい“安全・安心”の追求」のひとつめの柱は、感染症の拡大、国際環境の変化を踏まえ、経済安全保障を見据えて信頼できる情報を確保し、情報空間維持に貢献することです。ふたつめの柱は、信頼され、魅力あるコンテンツを強化するとともに、コンテンツ産業の

底上げ・オールIP時代対応に貢献することです。次に、「新しい“あまねく”の追求」の柱は、地域を含めて民放との二元体制の持続可能性を高め、放送の価値を届け続けることです。さらにレジリエンス確立、リスクマネジメント強化、持続可能性に配慮した投資を行うと同時に、いっそうの生産性の向上により、いかなる状況下でも情報を届け続けることです。そのうえで、「これまでの方針の進化・深化」として、営業改革の完遂により安定収入を確保することと、放送通信融合時代にふさわしい取材・制作フローへの転換を図ります。

さらに詳細な事項については、次回以降の理事会でご審議いただきます。

本件が了承されれば、本日開催の第1407回経営委員会に諮ります。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日開催の第1407回経営委員会に諮ります。

## 2 報告事項

### (1) 考査報告

#### (考査室)

2022年7月20日から9月7日までの間に放送した、ニュースと番組等について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース19項目と番組97本、国際放送番組では、ニュース4項目と番組3本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目として、新型コロナウイルス感染者の自宅療養期間が短縮されたことや、ウクライナ侵攻で原発砲撃の懸念が広がっていることなどがありました。

放送番組では、若者の自殺を予防するキャンペーンとして、10代の誰にも言えない悩みを聴く場を提供したハートネットTV「ゆううつな夏休み～#8月31日の夜が来るまえに。」(Eテレ 8月17日放送)を考査し、生放送中に視聴者から危険な兆候が見られる投稿があった場合に専門の相談機関につなげるなど、自殺防止のための万全の体制

を整えていたことを確認しました。また、都内の公立小学校を舞台に、コロナ禍で学ぶ子どもたちを見つめたノーナレスペシャル「わたしの小学校 ～“新しい日常” 1年の物語～」(総合 8月28日放送)の考査では、事前に保護者説明会を何度も開くなど取材先関係者に丁寧な説明を行っていたことなどを確認しました。

地域番組では、Yスペ!「虹色のスカート～幼い子どもの性に寄りそって」(総合 山口県域 7月15日放送)や、「3県から行く!夏の尾瀬路(おぜみち)」(総合 群馬・福島・新潟3県向けに7月29日放送)などを考査しました。

モニターフィードバック指標では、8月に放送した「戦争と平和」関連番組を分析しました。総合評価では、対象の17番組のうち15番組が高い水準の評価を受けました。総合評価と詳細項目の相関関係からは、視聴者はNHKの戦争関連番組に対して、「新しい知識・情報を得られるか」「考えさせられたか」を強く求めていることがわかりました。

国際放送では、NPT再検討会議に関するニュース項目や、「大坂夏の陣図屏風」にスポットを当てて日本の歴史の面白さを紹介した「History Uncovered: Osaka's Tragic Folding Screen」(日本時間8月6日放送)などを考査しました。

考査の結果、これら一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(正籬副会長) 「ハートネットTV」については、人権に配慮しつつ、関係機関などと連携しながら、丁寧な制作を行っていました。「ノーナレ」も含めて、こうした番組制作を地道に行った事例を研修などで紹介するなど、ジャーナリズムのありようを協会内で共有できるよう、役職員が一丸となって進めていくべきだと思います。

(会長) 副会長の言ったとおりだと思います。NHKは番組の

質が問われるわけですから、クオリティを高めるという  
意味で、ただ放送するだけではなく、色々なことを考え  
ながら番組を作るというのが原点ですので、よろしくお  
願いします。

### 3 審議事項

#### (4) 第1407回経営委員会付議事項について (経営企画局)

本日開催の第1407回経営委員会の付議事項について、審議をお願  
いします。

付議事項は、審議事項として、「経営計画について」です。

(会 長)           ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2022年 9月27日

会 長   前 田 晃 伸